

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社アーキプラン )

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別による待遇や業務内容の差別を設けず、能力と適正により評価し、業務内容を決定しています。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			セクハラ等を禁止する宣言を掲示し、就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8											16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			毎週業務の進捗とともに各人の仕事量をチェックし、直近二年で残業時間平均を20~30時間程度に抑えている。									8.5 8.8											
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国籍の面接も実施している。能力により採用の可否を判断している。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3									
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			高所での業務や工事現場へ行く際に会社指定の服を用意し、会社指定の安全帯、ヘルメットを必要に応じて持参している。				3					8											
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			体調不良の社員に対して、個別面談を実施し、在宅勤務や休業など、本人に合った改善策を話し合い、実行している。				3																
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			能力重視で女性や高齢者が活躍できる環境を整備している。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3									
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			業務に必要な資格取得補助や社会人研修などに対し、補助を提供している。				4	5.5				8	9										
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			正社員・パート含めて仕事内容と能力に応じた給与体系としている。					5.5				8.5		10.2 10.3									
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			全社員に健康診断とインフルエンザ予防接種を会社の負担で毎年実施している。				3					8											
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物を少なくする設計を常に意識している。紙類を分別して廃棄している。												11.6	12.4		14.1					
12 環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			社内に温湿度計を設置し、使用エネルギー量とともにエネルギーの見えるかに取り組んでいます。									7.3					13						
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			自然の通風による空調エネルギーの削減、節水型便器による使用水量の削減に取り組んでいます。									7.2 7.3				12.4	13.3						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質を含まない設計を行っています。				3.9			6.3					11.6	12.4							



	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			関係法令に則った設計はもちろん、設計者・技術者として必要な配慮を常に意識した設計を行っています。			3.9										12.4														
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			高品質な設計を適正なコストで実現することを第一に考えています。								9																			
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			省エネ、省資源につながる設計を行っています。						6							12	13	14	15											
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			ZEBにつながる設計仕様をすべての案件において心掛けています。工事段階での人手不足に配慮した無駄のないシンプルな設計を行っています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			価値ある社会資本を創造し環境に調和した建築設計を心掛けています。				4					9		11	12			14	15					17						
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			学生のインターンシップやアルバイトの積極的な受け入れで、就業体験を提供しています。				4									11			14	15				17						
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			地域資源を生かした設計を行っています。									8	9		11	12	13													
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			入社時や決算月、会社HPに掲載しています。									8	9													17				
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			設計案件に対して、設計レビューなどで、全社体制で法令遵守のチェックを行っています。																								16			
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			品質管理部を設けて、チェックしています。																								16			
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			事業主と施工者の双方が納得でき、品質の高い建築を目指して設計を行っています。																							16	17			
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			品質管理を設計レビューで行っています。																								16			
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			長い年月存在し、多くのエネルギーを消費する建築に対して、建築の長寿命化・可変性・ZEBを意識した設計を行っています。																								16			
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			在宅勤務ができる体制を整えています。									9		11			13	13.1								16				
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			2020年10月に事業承継を実施しました。会社の持続可能性のために、若手技術者の育成を積極的に行っています。									8	9															17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定